1/15
平成10年（1998年）
№662

広報むこう

文化財火災予防運動
1月20日(火)～26日(月)
貴重な文化財を火災から守るため、付近では絶対に火気を使用しないよう注意しましょう

●発行　向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）　●編集　秘書広報課　◎電話　075(931)1111

華やかな交換札など1000点を展示

粋なデザイン、錦絵をおもわせるカラフルな絵。江戸に生まれた千社札は、庶民の娯楽として盛んに収集、交換が行われたという。
図書館では、1月30日まで「小さな版画－千社札展」を開催しています。ぜひ、この機会にご覧ください。

1月30日(金)まで　入場無料
10:00～17:00　月曜・祝日休館
向日市立図書館
☎931－1181

小さな版画　千社札展

「千社札」とは、寺院神社の門や柱、梁などに貼られた屋号や姓名を書いた細長い紙札のことです。江戸時代に流行した「稲荷千社参り」がやがて「千社参り」と呼ばれるようになり、参詣のしるしに必ず納札したことから、この札が「千社札」と呼ばれるようになりました。

当初、千社札は、自分の名や別号、住所を読みやすく大きく記した、木版墨刷りの文字札（題名札）から始まりました。次第に顔見知りになった人々が集まり、浮世絵の影響を強く受けた色とりどりの「交換札」を作製し、「千社札交換会」を私宅で開催するようになりました。

この交換会では、戯作者、浮世絵師などいろいろな職種の職人達が、武士も交えて庶民の趣味の場、憩いの場として、交換札を自慢しあい、交換するなどして楽しんだといわれています。

今回の展覧会では、数多くの千社札の中から、浮世絵版画の隆盛を背景に、庶民の粋を集めて花開いた華麗な「交換札」を中心に、約1000点を展示しています。作品は主に明治から昭和初期のものです。

主な展示作品

○影絵づくし	大正期	作者不詳
○郷土玩具づくし	大正期	祥湖画
○凧づくし	大正9年	作者不詳
○祇園祭と神輿	大正11年	蝸堂画
○近江八景	大正15年	初代安藤広重原画
○うちわ・扇子	大正期	名家多数
○歌舞伎衣裳	大正11年	長谷川小信画
○羽子板づくし	大正11年	祥湖画
○神輿渡行之図	大正10年	熊耳耕年画
○忠臣蔵（義士）	大正13年	蝸堂画
○美勇水滸傳	大正12年	月岡芳年原画
○写楽画	昭和28年	東洲斎写楽原画
○文楽座人形狂言集	大正13年	長谷川小信画
○干支絵馬合わせ	昭和5年	樵舟・柳外・立堂画
○文字札	明治・大正	作者不詳
○大津絵十八番	大正期	樵舟画
○柳都納札連名	安政4年	（軸1巻）

マナー守って安全で快適なまちへ

駅前放置自転車

向日町サティ駐輪場2F　東向日駅前に駐輪場新設

歩行者の通行のさまたげになっている阪急東向日駅前の放置自転車

駅前や歩道に放置された自転車やバイク。対策を望む市民の声があとを絶ちません。歩行者、特に車いすの利用者やお年寄りにとって大きな障害物になっています。また、中には乗り捨てられている自転車もあります。

「みんなが置いているから」「置くところがないから」と歩道や道ばたに自転車やバイクを放置していませんか。

駅前は、市の玄関です。私たちの家と同じようにきれいにして使いたいものです。安全で快適なまちをつくるため、放置しない、させない環境づくりに市民のみなさんのご協力をお願いします。また、あなたのご意見、アイデアもお寄せください。

■駐輪場新設のご案内■
向日町サティのご協力で、立体駐輪場の2階の一部を一般用の駐輪場として利用させていただくことになりました。
利用時間　午前10時～午後8時（向日町サティの定休日は利用できません）
□お問い合わせ　環境対策課（内線249）

ペットボトルの収集にご協力を

モデル地域を募集

軽くて割れない、衛生的などの理由から、近年急速に需要が伸びてきたペットボトル。しかし、使用後すぐにごみになるため、ごみの増加を引き起こす一因となっています。

この問題を解決するため、昨年4月から「包装容器リサイクル法」がスタートしました。この法律は、ペットボトル、カン、びん、紙パック、段ボールなどごみの6割を占める容器包装ごみを資源化し、ごみの容量を減らすのが目的です。

市では、平成11年4月からのペットボトルの本格収集に向けて、モデル地域で収集を試験的に実施します。収集にご協力いただける地域（町内会）を募集します。

■募集対象戸数　70～100戸
■実施期間　4月～
■申込み　2月10日(火)までに環境対策課（内線226）へ

ペットボトルの正しい出し方
(1)ペットボトルのリサイクルマークのついているものだけを出す
(2)キャップをはずし、中に異物が入っている場合は取り除く
(3)よくすすいで、乾かす

〔リサイクルできるペットボトルの種類〕
炭酸飲料・果実飲料・ウーロン茶・スポーツドリンク・コーヒー・紅茶・麦茶・日本酒・焼酎・しょうゆなどの容器

阪神・淡路大震災から3年

災害に対する備えは大丈夫ですか

なんの前ぶれもなく起こる地震。被害を最小限にするには、日頃の準備と心構え次第といわれています。

地震から身を守る10ヵ条
(1)グラッときたら火の始末
(2)窓や戸を開けて出口の確保を
(3)テーブルの下などに身をふせる
(4)あわてて外へ飛び出すな
(5)火が出たら初期消火を
(6)みんなが助け合って応急救護を
(7)正しい地震情報に耳をかせ
(8)避難は早めに。まだ大丈夫は危険
(9)狭い路地や塀ぎわ、がけ、川べりなどに近づかない
(10)山崩れ、がけ崩れ、津波に注意

防火・防災用器具設置補助制度
町内会などで防火・防災用器具を共同購入した場合、かかった費用の2分の1を市が補助します。
〔対象となる器具〕
大バール・大ハンマー・のこぎり・掛矢・スコップ・一輪車・自動車用ジャッキ・ロープ・懐中電灯・ビニールシート・ヘルメット・携帯拡声器など
▷お問い合わせ
消防本部総務予防課☎934－0119

防災とボランティアの日　1月17日　防災とボランティア週間　1月15日～21日